

(講座) 分子創薬科学

(研究室) 天然物化学

(氏名) 松尾洋介

(職名) 助教

### 【研究テーマ】

1. 植物ポリフェノールに関する研究

### 【論文発表】

#### A 欧文

##### (A-a) 原著論文

1. R. Kusano, T. Tanaka, Y. Matsuo, I. Kouno: Structures of Epicatechin Gallate Trimer and Tetramer Produced by Enzymatic Oxidation, *Chem. Pharm. Bull.* **55**, 1768-1772 (2007). (IF: 1.262)
2. N. Yamabe, K. S. Kang, Y. Matsuo, T. Tanaka, T. Yokozawa: Identification of Antidiabetic Effect of Iridoid Glycosides and Low Molecular Weight Polyphenol Fractions of Corni Fructus, a Constituent of Hachimi-jio-gan, in Streptozotocin-Induced Diabetic Rats, *Biol. Pharm. Bull.* **30**, 1289-1296 (2007). (IF: 1.522)

#### B 邦文

##### (B-a) 原著論文

1. 田中 隆, 吉武直幸, 趙 平, 松尾洋介, 河野 功, 野中源一郎: ポリマー断片化によるプロアントシアニジンオリゴマーの製造方法, 日本食品化学学会誌, **14**, 134-139 (2007).

### 【学会発表】

#### A 国際学会

##### (A-b) 一般講演

1. Y. Li, T. Tanaka, Y. Matsuo, I. Kouno: New Catechin Oxidation Products Formed by Model Tea Fermentation and Production Mechanism, ICOS2007 The 3rd INTERNATIONAL CONFERENCE ON O-CHA (Tea) CULTURE AND SCIENCE (November 2007, Shizuoka, Japan)

#### B 国内学会

##### (B-b) 一般講演

1. 山田裕子, 大西幸子, 松尾洋介, 田中 隆, 河野 功: プロシアニジンの酵素酸化に関する研究, 第24回日本薬学会九州支部大会講演要旨集, p94 (2007年12月、福岡)
2. 前田 一, 川内美也子, 松尾洋介, 田中 隆, 河野 功: 未利用森林資源に含まれるポリフェノール類の探索と新規成分の構造決定, 第24回日本薬学会九州支部大会講演要旨集, p93 (2007年12月、福岡)
3. 松尾洋介, 李 岩, 渡海明郁, 田中 隆, 河野 功: 紅茶色素形成に関わるエピガロカテキン由来ビシクロ[3.2.1]オクタン骨格を持つ鍵中間体の生成分解機構, 第49回天然有

機化合物討論会講演要旨集, p299 (2007年9月、札幌)

4. 川内美也子, 田中 隆, 松尾洋介, 久林高市, 河野 功: ツバキ種子油粕の新規フラボノール配糖体およびツバキ葉ポリフェノールの季節変動, 日本生薬学会第54回年会講演要旨集, p210 (2007年9月、名古屋)
5. 松尾洋介, 李 岩, 田中 隆, 河野 功: 紅茶色素テアフラビン類の酸化におけるガロイル基の影響, 日本生薬学会第54回年会講演要旨集, p211 (2007年9月、名古屋)
6. 松尾洋介, 渡海明郁, 林 利美, 田中 隆, 河野 功: 紅茶に含まれる新しいテアシネンシン異性体の構造及び生成機構, 日本薬学会第127年会要旨集 4, p71 (2007年3月、富山)

#### 【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	5 編	(邦文)	1 編
総説 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
特許	0 件		